

掛川のWAKUWAKU西郷

「認定NPO」に

掛川市で環境保護や防災活動に取り組むNPO法人「WAKUWAKU西郷」(松浦昌司理事長)が、寄付者に対する税制優遇がより広範に適用される「認定NPO法人」に、県から一日付で認定された。同市内では初めて。

(正木徹)

NPO法人が認定NPO法人となるには、より高い公益性や組織面などの認定要件をクリアすることが必要となる。「WAKUWAKU西郷」は十年前の設立以来、環境保護や被災地支援、防災啓発などに幅広く取り組んできた。三年前に前段階の「仮認定」を取得し今回、待望の認定を得た。

環境保護や被災地支援、充実へ

西郷地区から市の全域に拡大しており、十周年のステップアップを契機にさらに発信力を増して充実したい」と報告。松井市長から「掛川のNPOのモデルとして活躍を」と激励された。

掛川市によると、今月三日時点で全国のNPO法人は約五万法人(うち県内千二百五十八法人)を数えるのに対し、認定NPO法人は七百三十一法人(同十一法人)にとどまっている。



松井市長と共「認定NPO法人」の認定通知書を手にする「WAKUWAKU西郷」の松浦理事長申、中山さん＝掛川市役所で

(第3種郵便物認可)

学校の環境整備感謝

地域ボランティア 西郷小で給食会

掛川

掛川市西郷小学校は二十五日、地域の人たちでつくる学校ボランティア「アサガオ環境大使」を招き、給食試食会を開いた。

整備に尽力している。給食試食会は、児童が感謝の気持ちを伝え、交流する場として毎年実施している。

アサガオ環境大使は、現在約四十人。夏場、子どもたちに快適に過ごしてもらおうと教室や昇降口でアサガオのグリーンカーテン作りに取り組むなど、日ごろから学校の環境

(土屋祐二)

児童とともに給食を味わうアサガオ環境大使の中山真理さん

☎掛川市西郷小で

